

< 2022 ～ 2023 年度 >

## デジタルポートフォリオを用いた日本語学習の 動機と習得の分析

高木南欧子／佐藤 梓

2023 年度は、前年度に行った先行研究の整理から得られた知見を元に、留學生活に関わるポートフォリオのデータ収集調査及び分析を行った。

データ収集においては、パイロット調査として行った模擬ポートフォリオの知見を基に、実際の留學生活に関わるポートフォリオに関するデータの収集を行った。データ収集の過程では、半構造的なアンケート調査、及び、データ収集後にインタビュー調査を実施し、不明点や動機にかかる聞き取りを行った。分析を進めた結果、留學生活に関わるポートフォリオの数は、調査対象者によって差が大きく、日本語の習熟度による差があまり

見られないことが分かった。しかし、記録する内容については、研究や学習、友人との交流など、活動の重要度や頻度の影響を受ける傾向があることが分かった。

また、日本留學への動機づけや価値に焦点を当てた調査を行うため、質問紙調査の作成と検討を行ったが、留學にかかる動機や留學への価値づけ、及び環境との関連についての分析にまでは進めることができなかった。日本語の習得との関連、コースシラバスとポートフォリオの包括関係とともに、今後の課題としたい。